

おおま

岬の光

No.

116

令和5年2月1日発行

議会だより



未来を担う子どもたちが町長に問う!!



「令和4年12月20日 大間中学校 子ども議会」

主な内容

12月定例議会

○令和4年 第4回定例会

P 2

○一般質問

P 3～4

○全員協議会・特別委員会

P 5

○議会のできごと・編集後記

P 6

第4回 12月定例会

令和4年第4回定例会を12月9日開会し、12月14日に閉会しました。
本議会に提案された承認1件、議案13件、同意1件はすべて原案のとおり承認、可決、同意しました。

令和4年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ3億591万円を追加し、歳入歳出予算の総額5億8億7362万円とした。

歳入の主なるもの

国庫支出金

○国庫負担金で、新型コロナウイルスワクチン接種費負担金783万円追加。
○国庫補助金で、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費補助金1220万円減額し、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金413万円追加。
○繰入金で、財政調整

歳出の主なるもの

総務費

○一般管理費で、町制施行80周年記念式典に係る食糧費173万円、会場看板作成及び進行業務委託料176万円それぞれ減額。
○財産管理費で、光熱水費174万円追加。
○企画費で、下北地域広域行政事務組合負担金127万円減額。

民生費

○社会福祉総務費で、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金1220万円減額。
○老人福祉費で、老人福祉施設措置費338万円追加。

衛生費

○環境衛生費で、汚泥再生処理施設むつ衛生センターにおける燃料費高騰に伴い下北地域広域行政事務組合負担金240万円追加。
○清掃総務費で、指定ごみ袋製作委託料183万円減額し、ごみ処理施設アックスグリーンにおける燃料費高騰に伴い下北

農林水産業費

○繁殖センター費で光熱水費119万円追加。
○北通り種苗育成センター費で光熱水費139万円追加し、修繕料160万円減額。

土木費

○下水道整備費で下水道事業特別会計繰入金275万円追加。

教育費

○小学校費の学校管理費で光熱水費191万円追加。

公債費

○利子で地方公共団体金融機構267万円、一時借入金利子429万円それぞれ追加。

予備費

○財政調整いたしまして156万円減額。

大間町公の施設に係る指定管理者の指定

※大間町老人福祉施設「くろまつ」を社会福祉法人大間町社会福祉協議会に令和5年4月1日より5年間、指定管理者として指定。

大間町監査委員の再任



松原 壽廣 氏

一般質問



堀 祐介 議員

質問時間 60分

教育について問う

大間町の教育行政のリーダーとなった山本隆教育長に大間町の教育への思いと発展させるための取り組みをお聞きしたい。

教育長答弁

基本的な教育は人づくりだといふふうには思っております。

将来、社会の一員として生きる人として、基本的な資質を育てることが教育の役割であるといふふうには思っております。

このことを発展させるためには、生徒同士、教職員同士、生徒と教職員、保護者と教職員、そしてまた地域と教職員それぞれの思いを理解できるような教育を

コミュニティスクール地域運営協議会制度。保護者、学校、地域、行政がつながり、社会全体で未来の大間町のつくり手となる子どもたちの育ちの場、学びを支援し地域とともにある学校をつくる必要がある。教育長のお考えは。

教育長答弁

目指し、学校教育、社会教育ともに地域との連携を重視しながら、その課題解決に向けて取り組みたい。

再質問

山本教育長がおっしゃる、教育は人づくりに向けて、基本的な資質を育てるために考えている取り組みは。

教育長答弁

基本的には、学校、地域、家庭とそれぞれの各関係機関、団体との連携を密にし、広く住民の理解と協力を得ながら進めていきたいというふうには思っております。

確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する調和のとれた教育を推進していきたいと考えております。

コロナ禍でPTAと学校の関わりや活動が減少し、今後、PTAの在り方が課題。行政、特に教育委員会との関わりが必要。見解をお伺いしたい。

教育長答弁

これまで、町立学校の教育を充実するために、活動として、子どもたちの健全育成活動、運動会や体育祭、施設の草刈りや側溝整備、掃除など、多大な協力をいただいております。

しかしながら、近年、新型コロナウイルス感染拡大によりまして、会場参加型の研修会や会議などが実施困難になった状況のなかで、これまでより、さらに保護者同士のつながりが希薄にならないよう教育委員会としても推進していく必要があると考えております。

再質問

行政との関わりということ、藤崎町の学校の子どもたちが、防災公園に宿泊をして避難体験。

その防災公園に設置されているものは、さまざまな助成金でつくられた。実際に使われたことがなく、子どもたちが初めてそれを使った。それを使った時に、さまざまな問題点、課題も出てきた。

例えば、炊事場を使ったら、炊事場の屋根が低すぎて焦げてしまった。

PTAは、行政に指摘。行政は直ちに屋根を修繕、例えば、行政がこういうふうにつくったもので、なかなか使われるタイミング、チャンスがないものがあれば、子どもたちが体験してもらおう。

それが、地域と行政とPTAが関わる大事な根幹の部分だと思っている。このことに關して、是非とも教育委員会を中心に、活動する時に協力をしていたきたい。

PTAが、学校に言っても校長先生が駄目だとか、委員会に言っても多分許可下りない、これ言っても駄目だよな、そういうことが子どもたちの教育の妨げになる。

難しかったら、どうクリアするか、前例がなかったら前例をつくればいい。

難しいことをしろとは言ってません。是非とも教育委員会を中心に、全面的に協力できるような体制づくりをしていただきたい。

教育長答弁

今堀議員のおっしゃったのを非常に参考にさせていただきます。

コミュニティスクールとは？
学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教法第47条の5）に基づいた仕組みです。

ただ、今話されたことを参考にしながら、これから教育委員会のほうで発信をしながら、例えば、教頭会という組織があります。そこは、それぞれの行事を調整するところなんです。そのほうに学校と保護者、行政が関わる事業が何かないのかとか、教育委員会にやってほしいことは何かないのかとか、そのことを働きかけて委員会として、これから検討してまいりたいというふうには思っております。

一般質問



野崎 信行 議員

質問時間 60分

問1 全国風サミットの誘致、開催について

町としての特段風力発電を推進している立場にないことから誘致、開催の考えはございません。

問2 町営住宅の入居審査基準の確認及び規則等の改正について

20歳以上の単身世帯については、条件が合いましたら入居は可能であります。また、1ヶ月の所得の上限が15万4千円になっております。

問3 大間町が管理する施設における電気消費量と費用の公開について

町長答弁

問4 奥戸地区から材木地区林道整備について

材木地区から奥戸に抜ける林道のことを指していることと思いますが、その箇所は国有林に該当するため、所管は森林管理署となります。該箇所は森林管理署でも把握しております。

問5 遊休農地対策について

町に相談があった場合

問6 クロマガロ漁獲量上限の規制緩和、国への陳情について

令和2年2月に漁獲枠増加について、町、議会、両漁協、商工会、観光協会等で国に対し陳情活動は行っており、必要に応じ両漁協を交えて協議したいと考えております。

問7 防犯、防災対策について

全国ではメールやアプリなどを活用した防犯対策に取り組んでいる自治体が多い。

問8 令和4年6月にヤフー株式会社と災害に係る情報発信等に関する協定を結んでおります。これにより、ヤフー防災速報アプリ及びヤフーJパパンアプリを通じて、防災に関する情報を無料で発信できるようにしております。また、他にも便利な情報発信ツール等があり、必要に応じて導入の検討をしたいと思っております。

問9 小学校、中学校においてタブレットの使用、活用について

タブレットを使用し、授業を進めており、活用内容にもよりますが、タブレットを十分に活用した授業展開となっており、課題を整理したうえで自宅でのインターネット接続を進めていきたいと思っております。

問10 将来、大間原子力発電所の稼働により、大間沖の環境変化や生態系の変化などの可能性があると、町として今から海洋環境調査を行い、記録管理を行うべきである。町の見解を伺いたい。

町長答弁

問11 原発稼働に伴う海洋環境調査につきましても、事業者が取り組むものと認識しております。町単独で調査することを考えていません。

問12 大間町「ジビエ」を使った観光振興について

町長答弁

問13 防衛省・自衛隊は、国民の安全・安心のため「迎撃ミサイルPAC」を福井原発に配備した。大間町でも原発があるため、配置希望すべきである。

町長答弁

問14 現段階では、配備を希望する考えはございません。

問15 毎日、新聞で新型コロナウイルス感染者数の発表がある。役場前の掲示板に掲示すべきである。

町長答弁

問16 大間町から上北変電所までの新送電線「要望」について

町長答弁

問17 昆布・ツルアラメ・ふのりの藻場がCO2を吸収し空気を浄化する。それを大企業が買い取り支援する。大間町も法人や企業に売買可能な「クレジット」を保有し関係機関と連携して購入者の公募・販売を進めるべきである。

問18 両漁協を交えて、漁業活性化協議会というのがあります。その場で取り組んでいけたらいいかなって思っています。

町長答弁

問19 19の質問の中から17

町長答弁

町長答弁

町長答弁

町長答弁

町長答弁

全員協議会

〔令和4年12月5日〕

案件

一、大間町公の施設に係る指定管理について
〔老人施設「くろまつ」〕

（概要）

指定管理者は「大間町社会福祉協議会」へ再指定したい。その根拠は、町条例第5条第1項の規定により「効果的効率的に達成できることが期待できるときは、公募によらず選定できるとなっている。」又、運営状況は、

①経営状況は、各年に於いて安定的な運営が図られている。

②過去4年間に於いて、適正な運営状況にある。

③当初60床から現在は80床となり、自己財源で20床増床し、介

三、大間高校全国募集について

（目的）

大間高校の入学者は、令和2年度・令和4年度と2学級規模の40人以下となっており、2年連続で40人以下の場合は、1学級となることから継続的に41人以上の入学者が必要となる。しかし、北

④障害者雇用3名を採用し、就業の場の提供にも取り組んでい

る。

⑤経営状況は、安定的な運営が図られている。

二、繁殖育成センターの今後について

（概要）

指定管理への方向性として、他牧場視察の結果を踏まえて、今後、協議・検討し令和5年6月頃までには指定管理開始の方向で進めたい。

その取組の概要計画として①県外生徒受入れに係る、必要経費の負担又は、補助。②高校の特色ある授業の展開。③北通り及び大畑地区の中学生に対するPR活動の展開。④大畑地区からの入学者に

対する支援の検討などを協議しながら全国募集を考えていきたい。

四、大間町議会議員及び大間町長の選挙について

大間町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例（案）について

（概要）

令和2年の公職選挙法改正にともない大間町に於いても令和2年9月10日条例を制定し

（概要）

ておりますが、国及び県に於いても昨今の物価変動を鑑み、単価の引上げが行われていることを考慮し、当町に於いても引上げを行う予定であります。引上げ等の一例は、ポスター、ビラ、車代等でありませう。（※詳しく知りたい方は、町選挙管理委員会までお問い合わせ下さい。）

特別委員会

〔令和4年12月5日〕

【大間町公共施設配置計画策定・建設特別委員会】

一、大間消防署庁舎建設について

（建設計画の概要）

基本設計（令和2年度）、実施設計（令和3～4年度）、建設工事（令和4～5年度）、令和6年4月1日運用開始予定となっている。

（概要）

・住民訴訟の審理状況は、今後は、第9回口頭弁論は二〇二三年3月に、第10回口頭弁論は9月に予定されている。

〔令和4年12月5日〕

【大間原子力発電所対策特別委員会】

一、新規制基準適合審査の対応状況について

（概要）

原子力規制委員会の

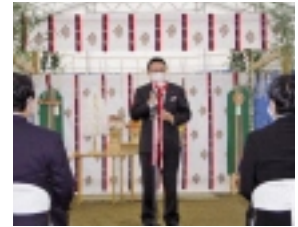
審査状況は、二〇一五年の第1回目からかつて、二〇二二年九月までで57回開催されているが、いまだに、工事再開の時期が見えてこない状況にある。

（概要）

・函館市の訴訟の審理状況は、今後は、第29回口頭弁論は二〇二三年3月に、第30回口頭弁論は9月に予定されている。

大間町議会の出来事

大間消防署安全祈願祭 令和5年度中に完成予定



電源開発 渡部社長来町

令和5年1月6日
電源開発株式会社 渡部
肇史代表取締役社長が、新
年のあいさつのため大間町
を訪問しました。



役場庁舎内にて=1月6日

フェリーの支援を要望

10月29日
経済産業省にて大間・函
館フェリー航路を恒久的な
運航にするため支援の要望
書を里見隆治政務官に提出
しました。



経済産業省にて=10月29日

第13回全国原子力発電所立地議会サミット

【テーマ】2050年カーボンニュートラルと原子力
立地地域が目指すこれからの方向性



会場の様子①=10月27日

10月27日～28日の2日間
全国の原子力発電所立
地地域市町村議会が集ま
り大間町議会からは9名
が出席しました。
各分科会に分かれ参加
しました。
分科会は、5つ
テーマと参加議員は
下記の通り



会場の様子②=10月27日

第1分科会
「脱炭素社会における
立地地域の在り方」
参加議員 岩泉盛利・堺 祐介
第2分科会
「脱炭素社会における
原子力の在り方」

第3分科会
「原子力防災体制と避難計画」
参加議員 石戸秀雄・正根秋雄
吉田安男
第4分科会
「核燃料サイクルと
使用済核燃料と
中間貯蔵・最終処分」
参加議員 野崎信行
第5分科会
「原子力安全対策と原子力規制」
参加議員 宮野昭一・竹内勝雄
竹内滋仁

編集後記

新年明けましておめで
とうございます。皆
さんは昨年を振り返っ
てどんな一年であった
でしょうか。令和五年
卯年の今年是最良の年
でありますよう心から
お祈り申し上げます。
また今年には全国一斉
に統一地方選挙がおこ
なわれます。皆さんの
大事な一票をむだにし
ないよう一人でも多く
投票しましょう。

コロナ感染症もまだ
先の見えない中、イン
フルエンザ流行の兆し
も有ります。
毎年の事ながら予防
対策をしっかり取って
感染症にならないよう
に注意しましょう。

記【竹内】

議会広報編集委員

委員長

吉田 安男

副委員長

佐々木 信彦

委員

堺 祐介

野崎 信行

竹内 勝雄

岩泉 盛利